

# 2023年度上期決算説明会

---

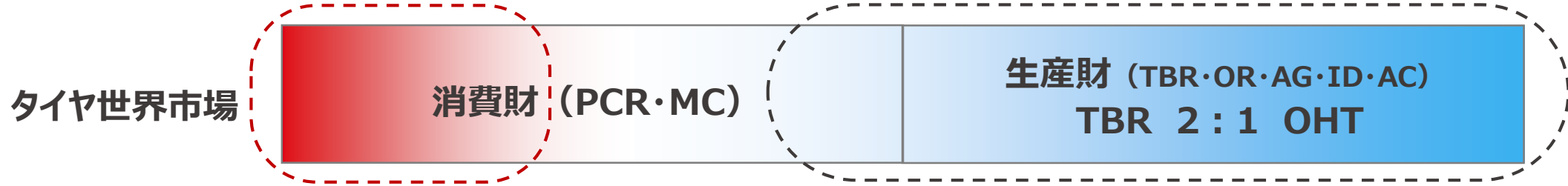
「Yokohama Transformation2023」の進捗と年間見通しについて



**YOKOHAMA Transformation 2023**

**深化 × 探索 による 変革**

# タイヤ事業戦略：タイヤ事業に与えるCASE/MaaSの影響



消費財タイヤの『生産財化』

B to B ~~(to C)~~

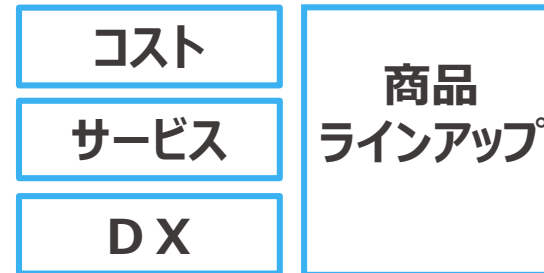
深化

探索

高付加価値品比率最大化



市場変化の取り込み

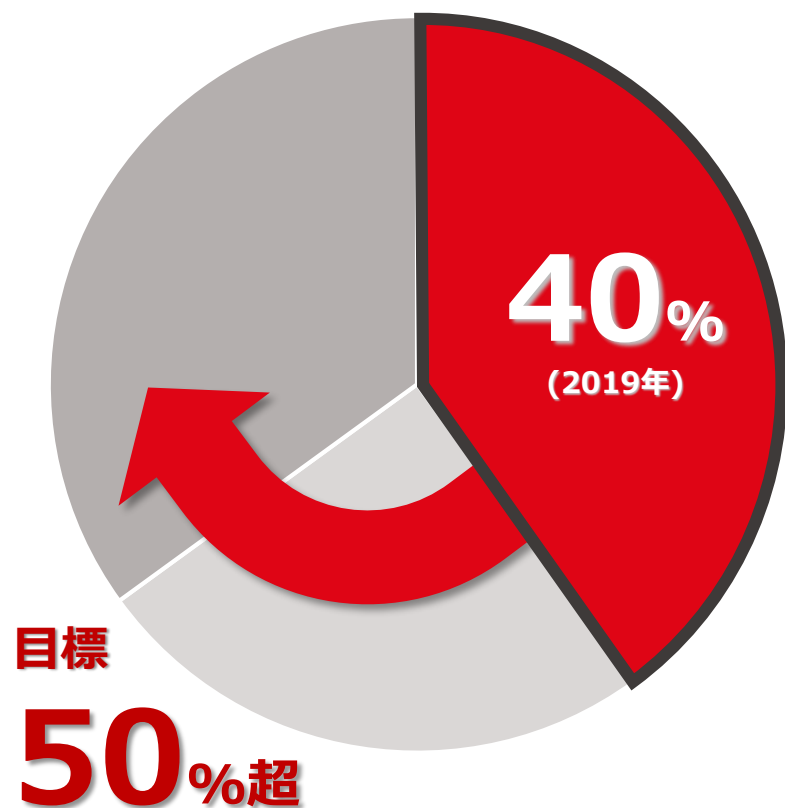


# 2023年度上期実績



単位 (億円)	2023年 上期実績	2023年 5月予想	予想比 増減	予想比 増減率	2022年 上期実績	前年比 増減	前年比 増減率
売上収益	4,432	4,500	▲68	▲1.5%	3,915	+517	+13.2%
事業利益	256	215	+41	+18.9%	277	▲22	▲7.8%
事業利益率	5.8%	4.8%	+1.0%	-	7.1%	▲1.3%	-
営業利益	282	235	+47	+19.9%	269	+12	+4.6%
当期利益	277	175	+102	+58.2%	233	+44	+18.8%
D/Eレシオ	0.77倍	-	-	-	0.38倍	+0.40倍	-

# タイヤ消費財：高付加価値品比率の最大化



UHP

**ADVAN**



SUV  
ピックアップトラック

**GEOLANDAR**



WINTER

**iceGUARD**



- 1) ADVAN / GEOLANDARの新車装着拡大
- 2) 補修市場でのリターン販売強化  
WINTERを含むサイズラインアップ拡充
- 3) 各地域特性に合致した商品の販売強化

# タイヤ消費財：2023年度上期の主な活動実績

## プレミアムカー・EVへの新車装着



LEXUS BEV[RZ]  
ADVAN V61装着



トヨタ自動車「アルファード」「ヴェルファイア」  
ADVAN V03装着



トヨタ自動車「GRコローラ」  
ADVAN APEX V601装着



MAZDA「CX-90」  
ADVAN V61・GEOLANDAR X-CV装着



トヨタ自動車「プリウスPHEV」  
BluEarth装着



中国・一汽トヨタ BEV「bZ3」  
BluEarth装着

## 補修市場のリターン販売強化

2023年 泥試合

GEOLANDAR  
A/T<sup>XP</sup>

GEOLANDAR  
X-AT  
(乗用車用サイズ拡大)

BluEarth-Camper



36th 日刊自動車新聞  
用品大賞  
2023

## モータースポーツ活動



SUPER GT第3戦  
GT500クラス優勝



ニルブルクリンク耐久シリーズ  
第2戦・第4戦総合優勝



パイクスピーク  
2年連続総合優勝  
6クラス中5クラスで優勝



米国オフロードレース  
King of the Hammers優勝

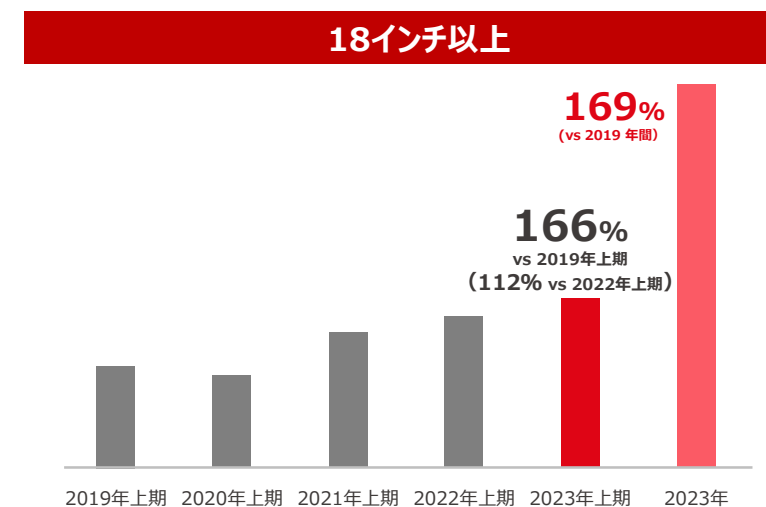
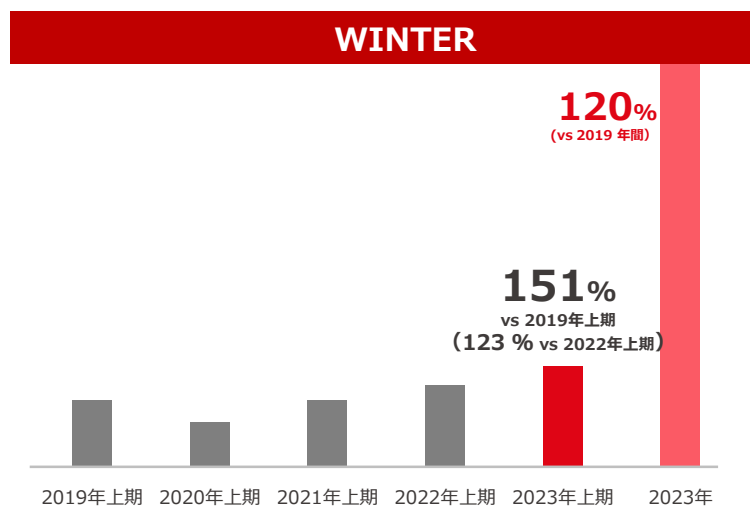
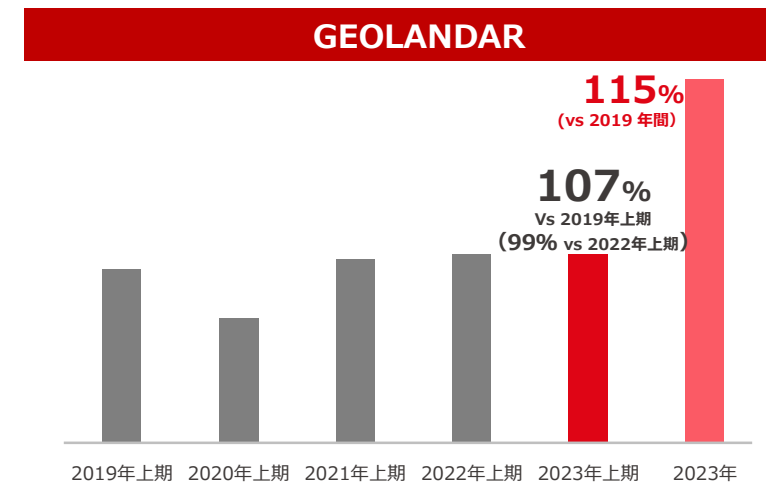
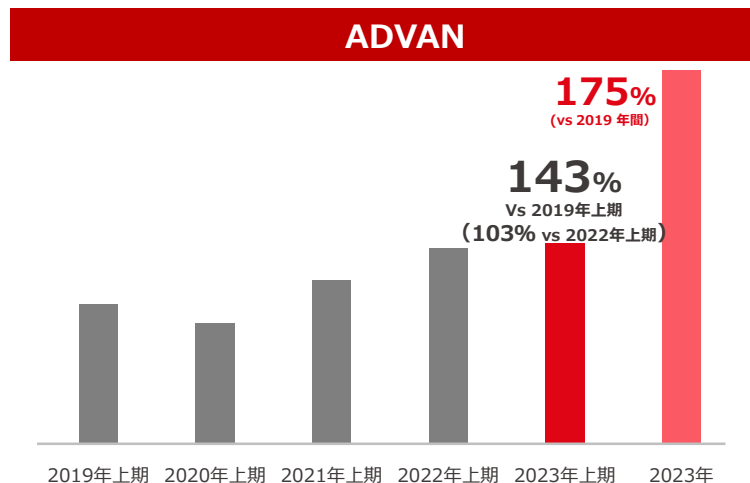
# タイヤ消費財：高付加価値品比率の最大化

## GEOLANDARサイズラインアップ°拡充

OE・REPサイズ拡大推移  
(新商品投入+サイズ拡大)

単位：サイズ数	2022年 上期実績	2022年 年間実績	2023年 上期実績
ADVAN	126	195	40
<b>GEOLANDAR</b>	13	39	<b>61</b>
WINTER	1	109	0
AGW計	140	343	101

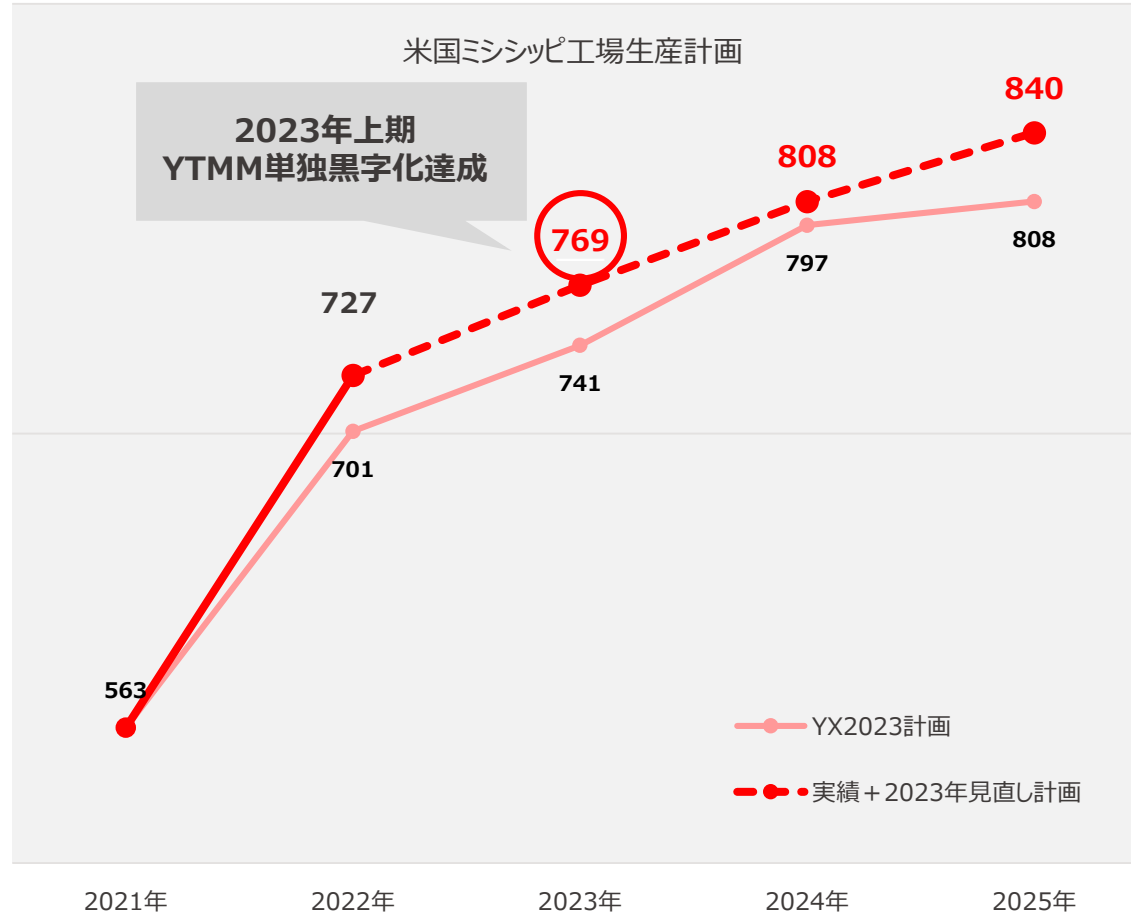
## ADVAN/WINTER/18インチ以上は前年を上回る販売伸張



## TBR事業

### ■ 米国TBR工場供給改善

(単位：千本)



### ■ EVへの取り組み加速

- ・EVバスでタイヤソリューションサービスの実証実験を開始

タイヤ内面貼り付け型空気圧センサー  
タイヤ空気圧遠隔監視システム (TPRS)



実証実験で使用する神奈川中央交通のEVバス

- ・当社として初めて新型EVトラックへの新車装着

### RY01C

小型トラック用スタンダードリブタイヤ

耐摩耗性能

静粛性

転がり抵抗の低減

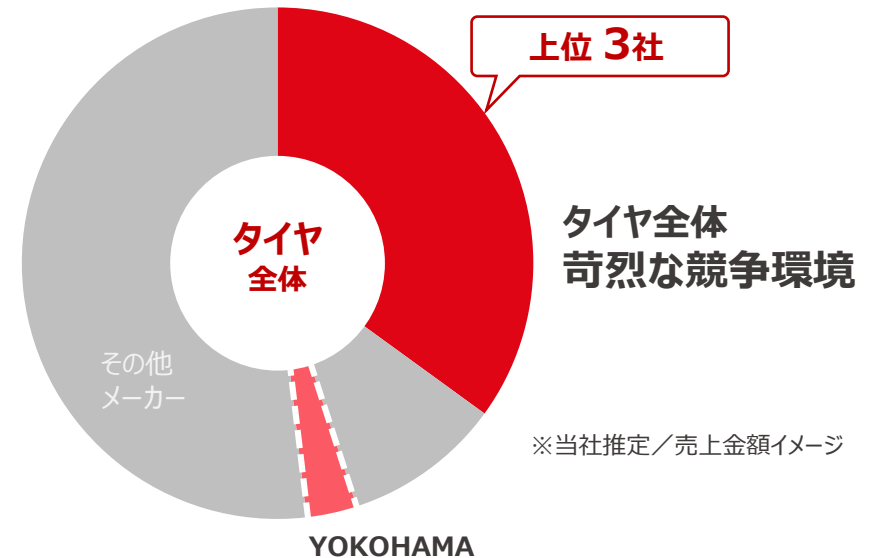
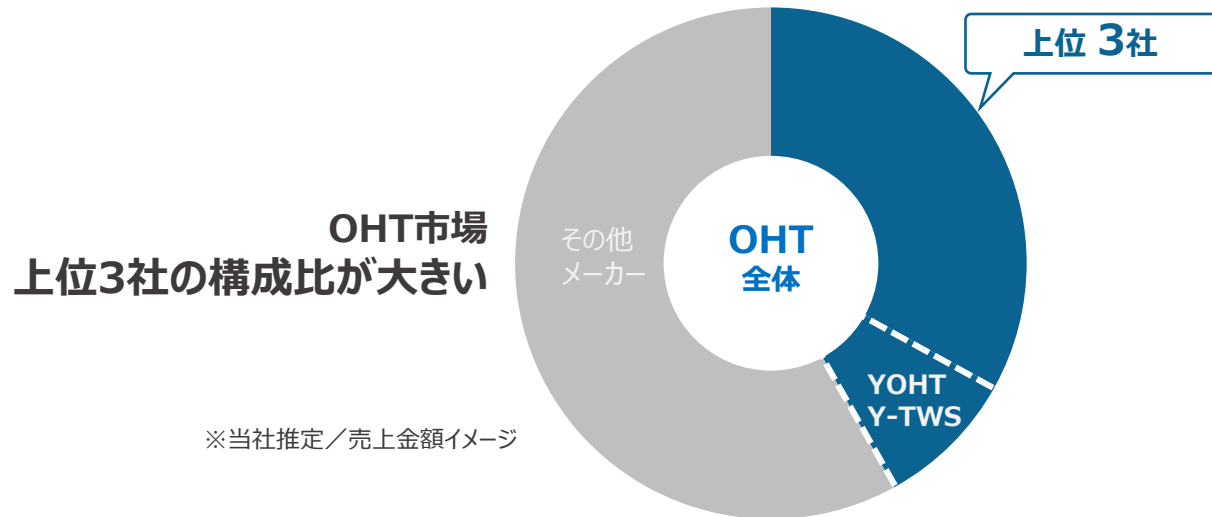




# タイヤ生産財：OHT事業の成長性

## Trelleborg Wheel Systems Holding ABの買収意義

### ■市場の競争環境



### ■ OHT事業の高い利益率 (セグメント別事業利益率)

	2022年
YOHT	14%
Y-TWS	13%
横浜ゴムタイヤ事業	9%

### ■ 安定した市場成長率 (%/年)

	市場成長率
オフハイウェイタイヤ (OHT) 全体	+6%
農業機械用 (AG)	+5%
産業車両用 (ID)	+5%
乗用車用	+2%

※当社推定

## 買収後のYOHT・Y-TWS／今後の成長性

### ■ 商品ブランド体系の完成



### ■ AG/ID分野で高い市場シェアを獲得

農業機械用（AG）シェア**1位**※



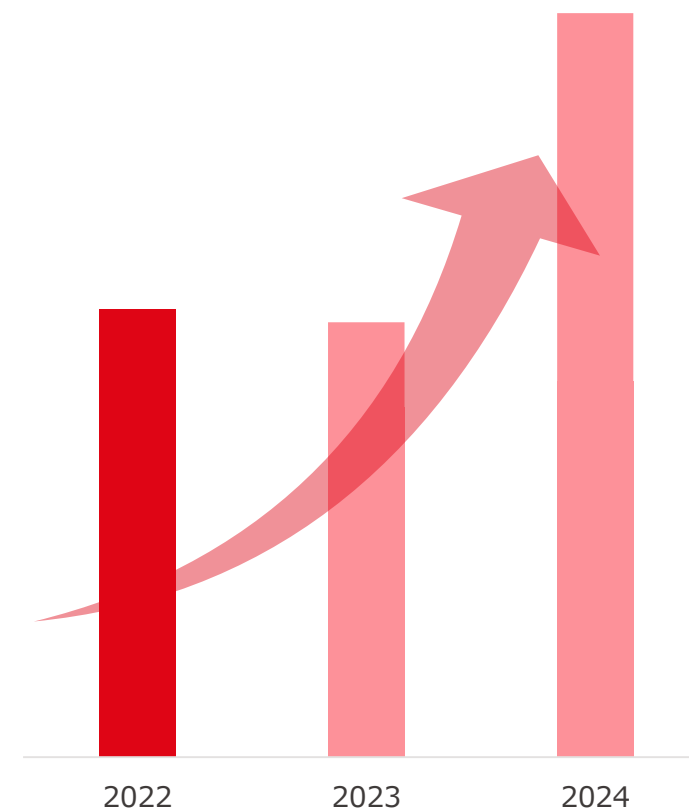
産業車両用（ID）シェア**2位**※



※当社推定

### ■ 横浜ゴムOHT事業は更なる成長ステージへ

横浜ゴムOHT事業利益イメージ  
(YOHT+Y-TWS)



# MB事業：2023年度上期の主な活動実績

## リソース集中による強化・拡大

**ホース配管**  
成長ドライバー  
生産能力増強  
拠点再編

**工業資材**  
安定収益化  
シェア最大化

## 事業再構築

**ハマタイト**  
2021年11月  
スイス・Sikaグループへ  
事業譲渡完了

**航空部品**  
2022年3月  
工業資材事業に統合

## 利益最大化のための「100日プラン」を実行

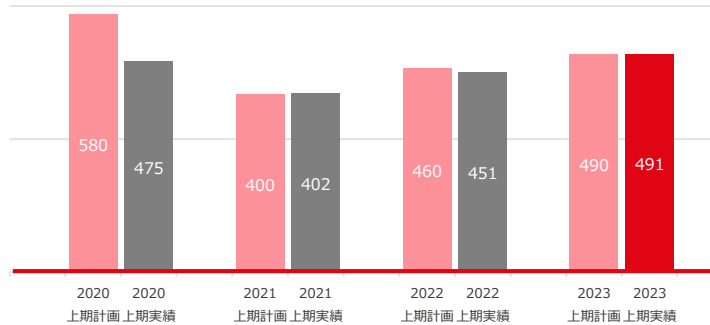
### MB事業全体で事業運営を見直し

意思決定の迅速化 / 組織見直し / 適材適所の人材配置

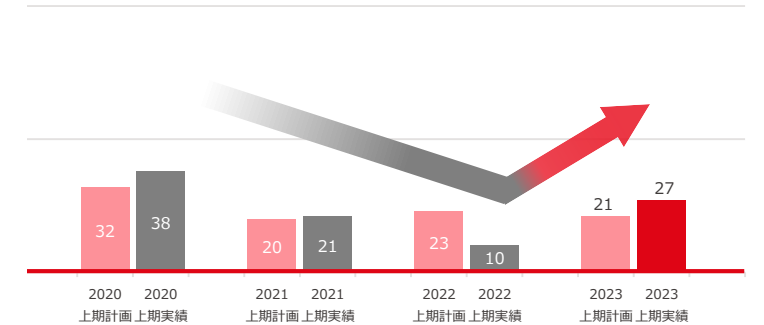
### 収益改善策の実行

コスト改善・価格転嫁の推進  
生産最大化・物流費改善  
低コスト工場へのアロケーション見直し

MB事業 売上推移



MB事業 事業利益推移 (単位：億円)



※2020年、2021年は事業譲渡したハマタイト事業の実績を含む。

## MIX投資・高付加価値品比率最大化

### ■ 三重工場：大型SUVサイズ

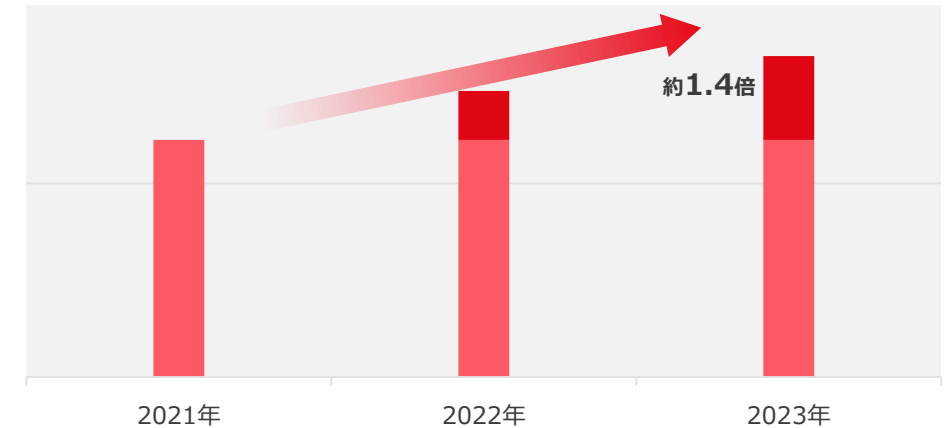
大外径サイズ増量 約24万本 → 約33万本（年間）  
（2021年比 約1.4倍）

→ 計画のMIX対応は完了



GEOLANDAR

三重工場大型SUVサイズ（本数/年）



### ■ 新城工場：内径18インチ以上

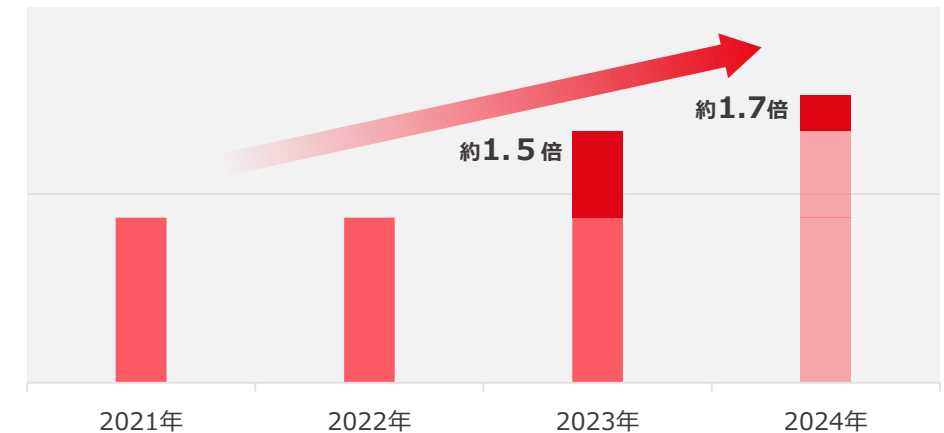
大内径サイズ増量 約130万本 → 約200万本（年間）  
（2021年比 約1.5倍）

→ 2024年には2021年比約1.7倍に



ADVAN

新城工場大内径サイズ（本数/年）



## 消費財・高付加価値商品比率の最大化

**GEOLANDAR**

**ADVAN**

販売本数伸長率  
**115%**を目指す  
(2019年度比)

ADVAN  
CHALLENGE  
『挑戦』

- 2023年「泥試合」 GEOLANDAR投入・拡販の本格化



GEOLANDAR CV45



- MIXアップ・高付加価値品比率「最大化」
- モータースポーツ活動を通じた高付加価値化

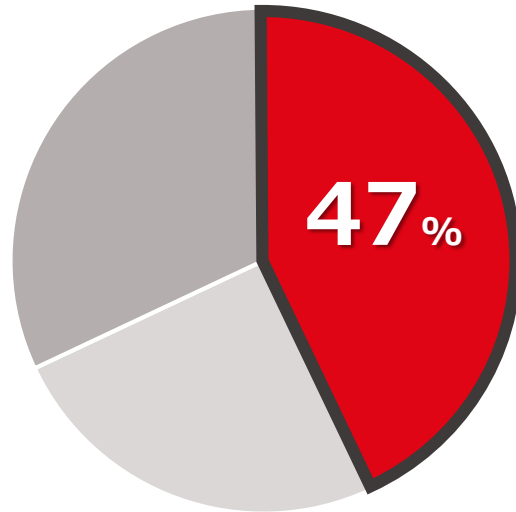


ADVAN Sport EV

# タイヤ消費財：高付加価値品比率の最大化（2023年見通し）

## AGWの販売比率

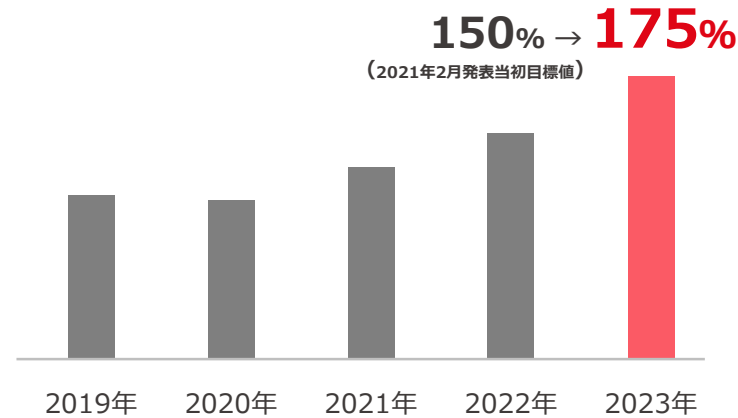
2023年度 計画



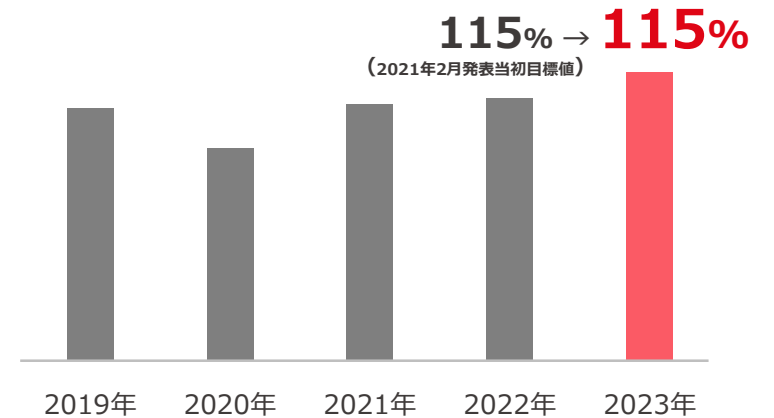
OE・REPサイズ拡大推移  
(新商品投入+サイズ拡大)

	2022年	2023年計画
ADVAN	195	97
GEOLANDAR	39	139
WINTER	109	126
AGW計	343	362

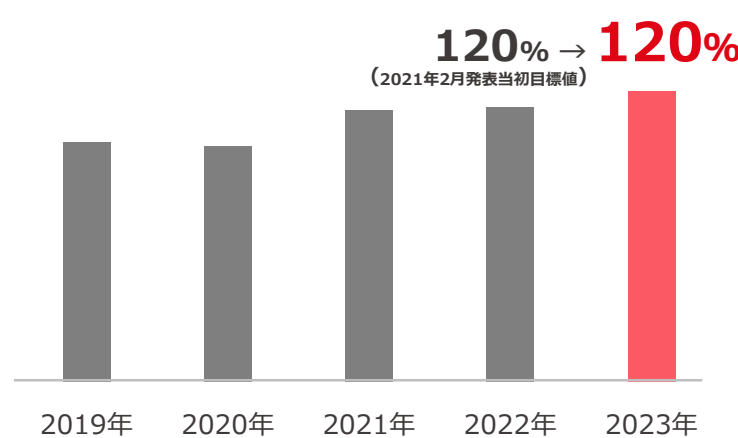
## ADVAN



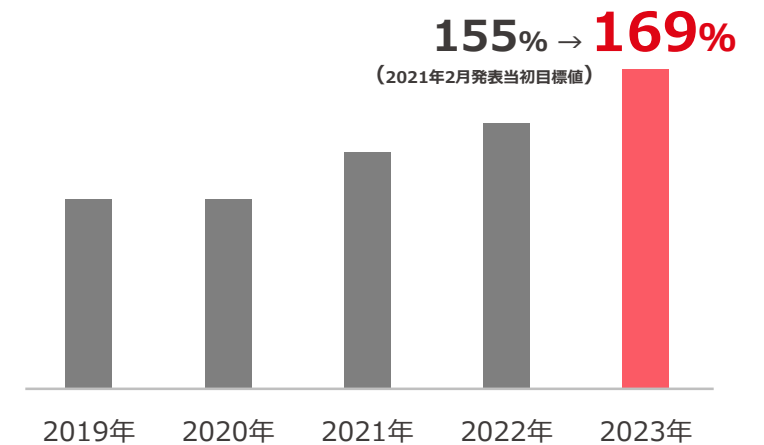
## GEOLANDAR



## WINTER



## 18インチ以上



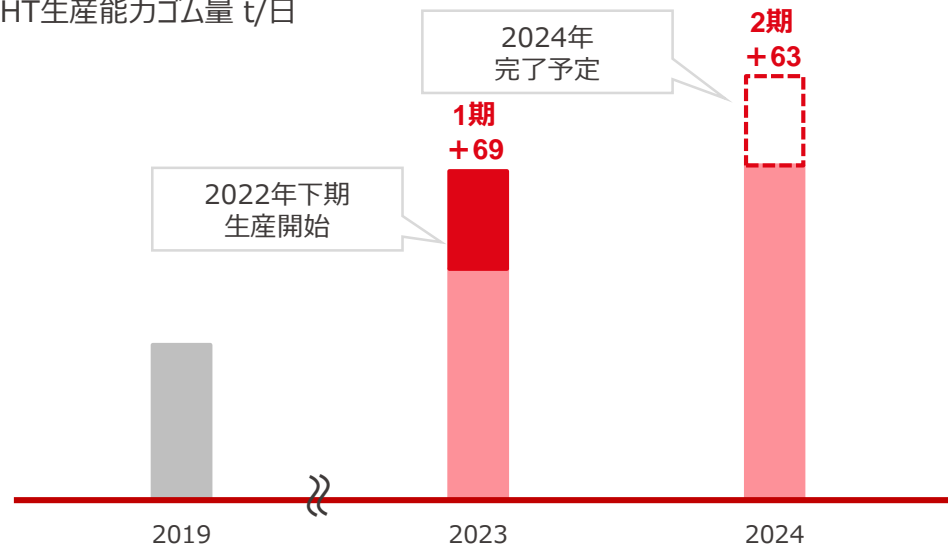
% : 2019年度比

# タイヤ生産財：2023年下期以降の取り組み

## YOHT新工場・2期工事進行

今後の需要に対応するため、YOHT生産能力をさらに増強

OHT生産能力ゴム量 t/日



インド・ヴィシャカパトナム工場（左側が建設中建屋）

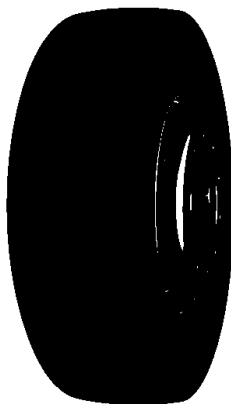
## Y-TWS

DX推進：農機向け空気圧管理支援ツールを共同開発



## TBR事業

- ・EV対応新商品投入
- ・欧州よりEVバス対応を推進



## リソース集中による強化・拡大

**ホース配管**  
成長ドライバー  
生産能力増強  
拠点再編

**工業資材**  
安定収益化  
シェア最大化

## 事業再構築

### ハマタイト

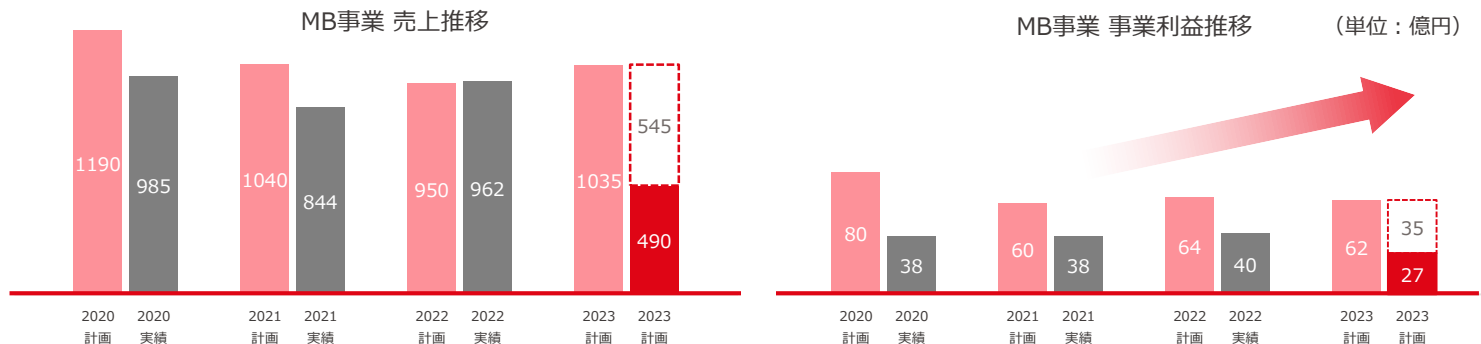
2021年11月  
スイス・Sikaグループへ  
事業譲渡完了

### 航空部品

2022年3月  
工業資材事業に統合

## 利益最大化のための「100日プラン」の効果刈り取り

### 事業運営の見直し／収益改善の継続推進



※2020年、2021年は事業譲渡したハマタイト事業の実績を含む。

### ■ホース配管

・北米自動車ホース配管生産再編完了／量産開始

### ■工業資材

・コンベヤベルト国内販売強化  
・ソリッドフェンダーの国内市場参入



V型ソリッドフェンダー

計画必達に向け、更なる改善を推進



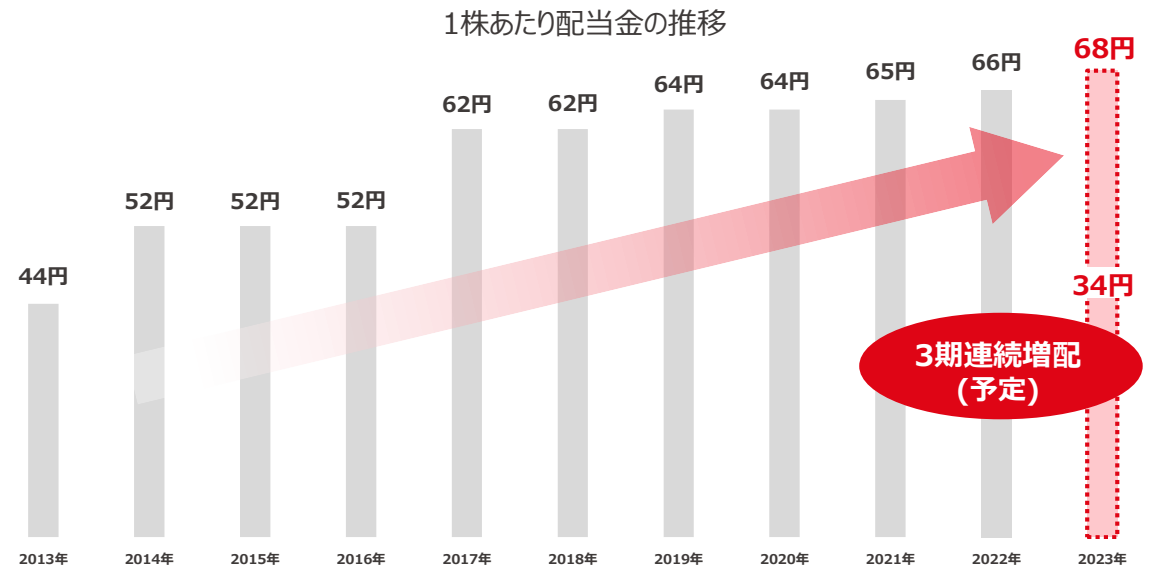
単位 (億円)	2023年計画	2022年実績	増減	増減率	YX2023 2023年目標
売上収益	10,000	8,605	+1,395	+16.2%	7,000
事業利益	845	701	+144	+20.6%	700
事業利益率	8.5%	8.1%	+0.4%	-	10.0%

## 株主還元

中間配当は34円 (前回公表比 + 1円増配)

期末配当34円、年間配当は68円 (前年比 + 2円増配) を予定

※2015年7月1日付で、普通株式につき2株を1株とする株式併合を行っているため、2015年以前の配当金については当該株式併合が行われていたものと仮定して1株あたり配当金を記載しております。



# サステナビリティ ～2023年上期の主な活動実績～

## E：環境

### ・カーボンニュートラル

新城南工場のカーボンニュートラルモデル工場化



新城南工場の太陽光発電設備稼働

### ・サーキュラーエコノミー

高い耐久性と劣化なく再生可能なゴム材料を開発

### ・自然との共生（ネイチャーポジティブ）

茨城工場が第3回ABINC※賞の優秀賞を受賞

※ABINC：いきもの共生事業推進協議会



茨城工場の生物多様性保全活動

### ・サステナブルなタイヤ開発

三島工場・モータースポーツ用ラインを再生可能エネルギー由来電力に切り替え



総合優勝したADVAN装着車

サステナブル素材比率33%のADVAN装着車  
パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムで総合優勝

## S：社会

### ・働き方改革

本社・平塚製造所の統合（3月末完了）

### ・人権尊重の取り組み

人権デューデリジェンス・ワークショップの実施（5月）



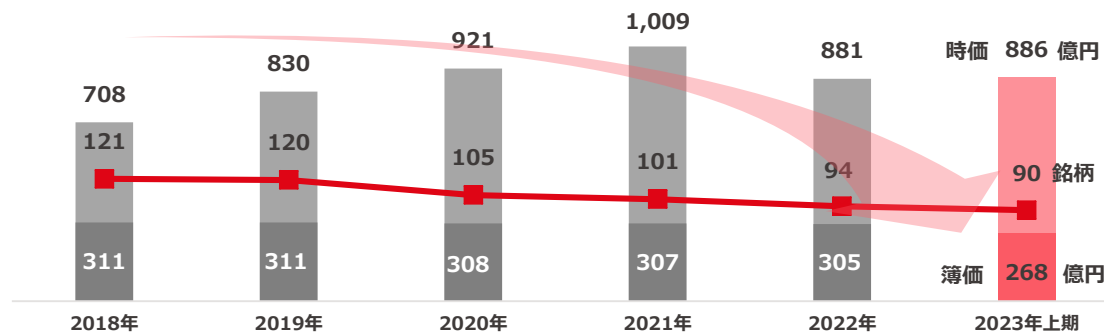
ワークショップの様子

## G：ガバナンス

### ・監査等委員会設置会社への移行

### ・政策保有株式の縮減

2023年4月および5月に一部売却



政策保有株式の推移（B/S計上額の合計額・銘柄数）

# サステナビリティ ～2023年下期の主な取り組み～

## E：環境

・EV向けタイヤの開発・販売強化



・カーボンニュートラル

1%削減活動を各工場で実施  
新城南工場 太陽発電設備 追加投資の検討

・サーキュラーエコノミー

サステナブル素材比率を拡大  
モータースポーツの実戦を通じた技術開発を加速

・自然との共生（ネイチャーポジティブ）

「生物多様性ガイドライン」の改訂  
TNFDフレームワーク開示への対応



サステナブル素材を33%活用した  
ADVANレーシングタイヤ

## S：社会

・平塚市の地域コミュニティ活動の推進

平塚新港のヒラメ稚魚放流イベントへの協賛



放流したヒラメの稚魚



平塚新港中央棧橋からの放流

・人権尊重の取り組み

人権デューデリジェンス・ワークショップにより特定されたインパクト・アセスメント実施

## G：ガバナンス

・政策保有株式の縮減

8月10日 保有株式の一部売却を決議  
投資有価証券売却益 約110億円（見込）

# 企業価値向上に向けて

## 戦略投資による事業成長でPBR1倍を目指す

- ・成長M&A  
(TWS買収)
- ・OHT事業増産  
(インド新工場建設)
- ・MIX投資  
(高付加価値品増強等)

**戦略投資**  
約**3,900**億円  
2021~2023年上期累計



- ・メンテナンス
- ・生産性
- ・安全
- ・品質

**経常投資**

- ・安定配当
- ・継続増配

**株主還元**

政策保有株式 / 遊休資産の売却  
事業所統廃合 / 事業譲渡・事業売却

約**600**億円

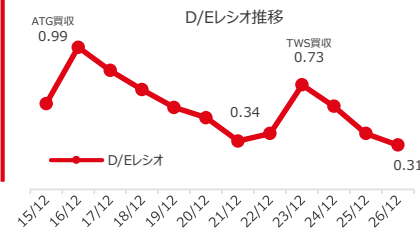
2021年~2023年上期累計

**借入金**

**3,147**億円

強固なバンクフォーメーションにより  
長期固定かつ低利の借入に借り換えを実施

- ・格付A+を維持
- ・D/Eレシオ1倍以下



**営業キャッシュフロー**

**2,300**億円

(2021年~2022年実績・2023年計画累計)

ガバナンスの強化：監査等委員会設置会社への移行  
投資家エンゲージメント強化：対話促進、トップミーティング開催



 **YOKOHAMA**  
  
YOKOHAMA Transformation 2023

